

会議録

会議の名称	西東京市小中学校通学区域見直し等に関する田無町・西原町・緑町・芝久保町地域協議会（第2回会議）
開催日時	平成24年8月28日（火曜日） 午前10時00分から11時55分まで
開催場所	西東京市立けやき小学校1階 ランチルーム
出席者	委員：宍戸鈴子、平千賀子、久保田洋子、瀬沼洋子、右田恵子、小此木始、内田千奈美、九嶋美智子、井口正三、種村明頼、金子清美、門之園紀子、内田日出子、須磨田純子、櫻井勉 事務局：坂本眞実（教育企画課長）、早川礼成（教育企画課課長補佐）、中村幸雄（教育企画課学務係長）、山岡昇（教育企画課学務係主任）
議題	1 開会 2 会議録の確認 3 配布資料の説明 4 見直し案の検討、意見交換等 5 次回の開催日程について 6 閉会
会議資料の名称	資料1 西東京市田無町・西原町・緑町・芝久保町地域協議会（第1回会議）会議録（案） 資料2 今後の就学状況の推計 資料3 未就学児童数 資料4 通学区域見直しの視点 資料5 田無小学校通学区域 資料6 現在の通学区域
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>議題1 開会</p> <p>議題2 会議録の確認</p> <p>○会長：</p> <p>資料1として配布している前回第1回の会議録（案）について、何か訂正すべき箇所、お気づきの点などがあれば発言願いたい。（全体で会議録（案）の内容確認）</p> <p>特に発言等も無い様なので（案）を取って、この内容を正式な会議録とさせていただきます。</p>	

議題3 配布資料の説明

事務局より資料2から資料6までの説明

○事務局：

配布資料の説明が終わったが、ここまでのところで意見や質問等があれば発言願いたい。

○委員：

田無小学校区域の平成24年度から平成30年度の児童数増の要因は何か。また、平成31年度以降の傾向はどうなるのか。増築という話になった場合に、平成31年度以降の傾向に応じて対応を検討する必要があるのではないかと。

○事務局：

現在における未就学児が多い原因だが、この区域に大規模な集合住宅が建設されたということもない。田無小学校は駅前にあり、周辺の集合住宅は分譲でなく賃貸が多いと思われる。子どもが小さい間は賃貸で、ある程度大きくなったら一戸建てや分譲に移るという家庭が、駅周辺の集合住宅が多い地域に住んでいるのでは、と推測される。

今後の推計だが、平成31年度以降は現在まだ生まれていないので詳細な推計はできない。平成23年度に作成された平成40年度までの就学者見込みによると、少子高齢化の流れは全国的な話であり、集合住宅等の開発による転入で児童数が増えていくことはあるが、それが頭打ちになるタイミングが来て、その後は減少傾向が見込まれる。それが平成30年度か平成31年度かは定かでないが、平成40年度に向けてなだらかに減少していくと思われる。

○委員：

平成30年度以降も増える可能性があるわけか。

○事務局：

平成31年度、平成32年度くらいまではある。

○会長：

他に意見等あるか。この次の見直し案の検討、意見交換等の中でもお気づきの点やご意見等あげていただきたい。

議題4 見直し案の検討、意見交換等

○会長：

資料4の視点に基づき検討するが、どのように当協議会で通学区域の見直しを行うか、事務局から考えはあるか。

○事務局：

通学区域の検討にあたり、委員の皆様の意見をうかがいたい。委員の皆様をランダムに3グループに分け、それぞれのグループごとに検討し、意見を出していただきたい。

(グループ分けは、次のとおり)

- 1グループ：瀬沼洋子、内田千奈美、井口正三、門之園紀子、宍戸鈴子
2グループ：平千賀子、右田恵子、九嶋美智子、内田日出子、種村明頼
3グループ：久保田洋子、金子清美、須磨田純子、小此木始、櫻井勉

(検討終了)

(1グループ)

○会長：

緑町1丁目と西原町1丁目を田無小学校からけやき小学校に移す案。メリットは田無小学校への通学時の新青梅街道の横断が無くなり安全である。けやき小学校は集団登校をしているので、移した地域で班を編成し、新青梅街道沿いを行き、歩道橋を利用すれば信号の横断も回避できる。もう一つは、この地域の児童は田無第三中学校に進学することになるため、それであれば最初から友人関係を築けるけやき小学校（全員が田無第三中学校へ進学する）に行けるということも大きい。デメリットはやはり指定校が遠くなりすぎる。田無小学校へ300メートル、けやき小学校へ1200メートルという児童も出てくる。運動や体力面から考えると、利点ととらえることもできるのだが。

(2グループ)

○委員：

2案ある。1案は緑町1丁目、西原町1丁目と田無町7丁目を田無小学校からけやき小学校に移す案。メリットはグループ1の案同様、安全面で新青梅街道を渡らないで済むこと、施設面で田無小学校の問題が十分解決されることである。デメリットは、けやき小学校の児童で現在最も遠い児童が1000メートルだが、この案だと1400メートルになる。田無小学校より通学距離が3倍になる児童がいる。

もう1案は増築である。児童数のピーク時に足りるだけの簡易的な増設をすることである。ただし、学校選択制度による受け入れ枠は5人を維持する必要がある。

(3グループ)

○委員：

3案ある。1案は田無町7丁目を田無小学校からけやき小学校に移す案。この地域の現在の通学区域は、団地が田無小学校とけやき小学校で分かれてしまっている状況である。また、それにより町内の自治会も分かれてしまっていることから、通学区域をけやき小学校にまとめることで統一を図れる。距離的にも一番遠い児童が600メートルから800メートルになる程度で、指定校への距離を1キロメートル以内に抑えることができる。デメリットとしては、それほど児童数を田無小学校から移すことができない。30人程度か。これで十分かをさらに検証する必要がある。

2案は田無町7丁目を田無小学校からけやき小学校に、田無町6丁目1～3番を田無小学校から芝久保小学校に移す案。芝久保小学校も人数的に厳しい見通しだが、この案の児童数程度なら受け入れは可能。その分1案よりは田無小学校の児童数を減らすことができる。安全上も危険な箇所は無い。

3案は田無町7丁目を田無小学校からけやき小学校に、田無町6丁目を田無小学校から芝久保小学校に移す案。ただ田無町6丁目は児童数が非常に多いので、芝久保小学校の施設面を勘案すると慎重に検討する必要がある。

別の話で、事務局への要望になるが、児童数の推移の資料で、増減のみでなく「何年度に何人入学し、何人卒業するのか」という数を具体的に出してもらえると、さらに検討を深めることができたかに思えた。

会長：

以上、3つのグループの意見について発表された。忌憚のない意見が交わされたのではないか。各意見に一長一短あるので、そのことを勘案し土台にしたうえで、事務局でそれぞれの案についてのシミュレーションを作成し、次回資料として出していただくということでお願いしたい。他グループに対する質問等あるか。

(質問なし)

○会長：

今日の検討作業の中で言い足りなかった部分や疑問点等ある方もおいでかと思う。その内容も次回の資料に生かすことができればということで、事務局でアンケートを用意したとのことである。お気づきの点等あれば9月11日までに事務局まで送付願いたい。その他資料の要望等あるか。

○委員：

今回掲示されている田無小学校で用意していただいた同校の児童数の分布図が各テーブル1枚くらいあるといい。

会長：

それでは次回までにそのように対応したい。

議題5 次回の開催日程

○会長：

次回の日程調整をする。第3回の開催日時は、10月15日（月曜日）でいかがか。各校長の事情から、時間については通常より30分早めの午前9時30分から11時30分頃までとし、会場については持ち回りの順で行けば芝久保小学校であるが、次回もけやき小学校で開催したいと思うので、出席をお願いしたい。正式な通知は後日送付される。事務局より何かあるか。

○事務局：

今日頂いた課題や案について、次回の資料に反映し、それを元にさらに議論をしていただきたいと思うので、引き続きよろしく願いたい。

議題6 閉会